

## 消化器内科

### 研修実施責任者

東京労災病院消化器内科部長

西中川 秀太

### 研修指導医

東京労災病院第二消化器内科部長

大場 信之

東京労災病院消化器内科副部長

乾山 光子

### 1 一般目標

基礎研修で身に付けた基本的な問診法・診察法を更に発展させ、より高度の技術を習得する。

高頻度に遭遇する消化器疾患については独力で診断・検査・治療ができる。

消化器系の救急疾患に対応できる能力を身につける。

慢性消化器疾患の管理・指導ができる。

緩和治療を実践できる。

### 2 身に付けるべき基本能力

- (1) 医療面接による情報収集ができる
- (2) 疾患の概要や治療成績、予後等について患者に説明できる
- (3) 患者の身体診察と所見の記載ができる
- (4) 症状や兆候から検査計画を立て、適切に指示を出すことができる
- (5) 腹部単純レントゲン、腹部 CT、腹部 MRI の基本的な読影ができる
- (6) 診察や検査の結果をみて診断を考えることができる
- (7) 主要な消化器疾患に対する初期治療ができる
- (8) 慢性消化器疾患に対する適切な指導、管理ができる
- (9) 悪性腫瘍患者に対する治療方針の決定、化学療法の選択、緩和医療ができる
- (10) 症例プレゼンテーションを状況に応じてできる

### 3 経験すべき症候

- (1) 消化管出血
- (2) 嘔気・嘔吐
- (3) 腹痛

- (4) 便通異常 (下痢・便秘)
- (5) 胸焼け
- (6) 嚥下障害
- (7) 黄疸
- (8) 食欲不振
- (9) 体重減少
- (10) 腹水
- (11) 腹部膨満

#### 4 身につけるべき検査手技

- (1) 上部消化管造影
- (2) 下部消化管造影
- (3) 上部消化管内視鏡検査
- (4) 下部消化管内視鏡検査
- (5) 腹部超音波検査
- (6) 内視鏡的逆行性胆道膵管造影検査 (ERCP)
- (7) 経皮的肝生検

#### 5 経験すべき疾患

- (1) 食道裂口ヘルニア
- (2) 食道炎
- (3) 食道潰瘍
- (4) 食道癌
- (5) Barrett 食道
- (6) Mallory-Weiss 症候群
- (7) 急性胃炎・AGML
- (8) 慢性胃炎
- (9) 機能性 dyspepsia
- (10) 消化性潰瘍
- (11) 胃癌
- (12) MALT リンパ腫・悪性リンパ腫
- (13) 胃良性腫瘍 (ポリープ、腺腫)
- (14) 腸閉塞
- (15) 虫垂炎
- (16) 感染性腸炎
- (17) Crohn 病

- (18) 潰瘍性大腸炎
- (19) 薬剤性腸炎
- (20) 虚血性腸炎
- (21) 過敏性腸症候群
- (22) 大腸憩室症
- (23) 大腸ポリープ
- (24) 大腸癌
- (25) 痔核、痔瘻、裂肛
- (26) S状結腸軸捻転症
- (27) 肝炎（急性、慢性）
- (28) 自己免疫性肝炎
- (29) 原発性胆汁性肝硬変症
- (30) 肝硬変
- (31) 薬剤性肝障害
- (32) アルコール性肝障害
- (33) 脂肪肝
- (34) 肝膿瘍
- (35) 肝のう胞
- (36) 肝細胞癌
- (37) 胆管細胞癌
- (38) 転移性肝癌
- (39) 肝良性腫瘍
- (40) 胆石症
- (41) 胆のう炎、胆管炎
- (42) 胆嚢ポリープ
- (43) 胆のう癌、胆管癌、十二指腸乳頭部癌
- (44) 膵・胆管合流異常
- (45) 膵炎（急性・慢性）
- (46) 膵のう胞・膵のう胞性腫瘍
- (47) 膵癌
- (48) ヘルニア

## 6 身につけるべき治療手技

- (1) 胃洗浄、胃管・イレウス管挿入
- (2) 腸栄養、経管栄養
- (3) 浣腸、高圧浣腸

- (4) 食道バルーンタンポナーゼによる止血
- (5) 腹腔穿刺およびドレナージ
- (6) 食道・胃静脈瘤の内視鏡的治療 (EIS, EVL)
- (7) 内視鏡的粘膜切除術 (食道、胃、大腸)
- (8) 内視鏡的止血処置 (胃、大腸)
- (9) 経皮的内視鏡的胃瘻造設術 (PEG)
- (10) 経皮的ドレナージ (胆道・膿瘍・のう胞)
- (11) 緩和医療

## 7 知っておきたい重要事項

- (1) 遺伝性消化器疾患の取り扱い
- (2) 感染性消化器疾患の取り扱い
- (3) 医療事故の取り扱い
- (4) 化学療法